

令和5年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 優秀賞
(土木部長賞)

「今できることを今やろう」

岡山県立津山中学校 2年 なかた あつひと 中田 淳仁

私は岡山県の中央に位置する久米南町という田舎町に住んでいる。私は、産まれて一度もこの町で土砂災害を目の当たりにしたことがない。私が幼い頃、島根県に住んでいる祖父母の家へ行った時には、道端で土砂が崩れた部分をブルーシートで覆っている所を何か所か見た記憶がある。その頃は見たことのないものを見るということに好奇心を掻き立てられ、大興奮だった。まだ「土砂災害」という言葉も知らないくらい幼かった。しかし、今そのような場所を見かけると、「家は土砂に巻き込まれていない」と安心したり、自分の家の近くで起こってほしくない不安になったりする。なぜなら、小学校や中学校の授業、テレビのニュースで「土砂災害」というものがどのようなものなのか、なぜ災害と呼ばれるのか教えられたからだろう。幼い頃の私は知識不足だったのだ。とはいえ、今の私が十分な知識を持っているとは思えない。浅い知識で、いわゆる知ったかぶりになってはいけないと思う。そのために、災害が起こる前、起こった後に行うことなど、知識を身に付けておく必要があるはずだ。

土砂災害に対して何ができるだろう。私は初めにハザードマップを見ることと防災バッグを用意することを思いついた。私は山々が連なる場所に住んでいるので、自然災害の中で土砂災害が一番危険視される。そのため、ハザードマップはよく確認しておくべきだ。町の中にはハザードマップで危険だと表示されている箇所が様々なところにある。しかし、いつ、どこで災害が起こるか私たちが予想することは容易ではない。そのため、ハザードマップを家族と災害が起こる前に見ておく必要がある。他の場所よりも安全であるところを探し、避難場所までの避難経路を考えておくことも大切だ。また、いざという時に何を持っておくか、避難場所に何を持っていくかも考えておくことと良い。自分ができそうなことから備えておくことが自分や家族の命を守ることに繋がるはずだ。

さて、学校や本でハザードマップや防災バッグという言葉が印象に残る。おそらくほとんどの人がこれらの言葉を知っているだろう。しかし、「キキクル」というサイトを知っている人はまだ少ないのではないだろうか。このサイトは、国土交通省の気象庁が運営するサイトで、大雨・洪水警報の危険度分布をリアルタイムで更新してくれる。また、自分の登録する地域の危険度が高くなるとスマートフォンのプッシュ通知で知らせてくれる。そのため例えば、離れて暮らす家族に避難を呼びかけることにも利用することができる。自分の身を守るため、利用できる便利なものがたくさんあるので、調べて、どんどん活用していきたい。

このような、便利なサイトがいくつあったとしても、今まで体験したことのないくらいの大きな災害が毎年絶えず起こっている。そのため、これからは災害が起こる前の備えだけでなく、災害が起こった後の備えも考えておく必要がより高くなってきた。例えば、懐中電灯や缶詰の食品、飲み水など準備しておくことと安心だ。避難所へ行くと、食べ物が備蓄されていることが多いだろうが、たくさん食べることはできない。大人数が1か所に集まることから、1人1人が食べられる量は限られるはずだ。食べ物以外にも今避難所で問題になっていることがある。その一つが、清潔で安全で明るいトイレだ。このようなトイレが、少なくとも50人に1つ必要なのだ。この問題に対して一般社団法人助けあいジャパンは、災害派遣トイレネットワークプロジェクト「みんな元気になるトイレ」を推進している。これは、全国の市区町村に1つトイレトレーラーを常備し、被災地へ全国から速やかに集結させるというプロジェクトだ。このトイレトレーラーは災害時だけでなく、お祭りや運動会などでも使われるそうだ。「みんな元気になるトイレ」にはクラウドファンディングにより、お金を寄付することができる。このプロジェクトが実現すると、被災地の方々はとても助かるのではないだろうか。ぜひ「みんな元気になるトイレ」へ興味を持ってみてほしいと思う。

令和5年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」作文中学生の部 優秀賞
(土木部長賞)

自分で災害への備えをすることは大切だ。また、災害の対策をしている方々の助けをすることも大切だ。公共施設の耐震工事や食料の備蓄を進めることも大切だ。これらを「自助」「共助」「公助」と言う。これからは、この3つが1つも欠けることなく、どんどん成長することがとても重要になる。昨年6月から警戒レベルの最高レベルに黒色が追加された。これは、年々災害の規模が大きくなっているから追加されたのだろう。これから、どのような災害が起ころうと自分や家族の命を守るために今できることを今やろう。